

5 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、第15表のとおり、病院、水道、工業用水道、電気及び流域下水道の5事業の経営を行っています。

企業会計予算の総額は、624億6,629万4千円となり、前年度の609億1,244万8千円に比べ、15億5,384万6千円、2.6%増となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会計名	令和4年度 当初予算額 (A)	令和3年度 当初予算額 (B)	比較	
			増減 (A)-(B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
病院事業	7,461,233	7,153,775	307,458	4.3
水道事業	16,082,903	16,450,020	△367,117	△2.2
工業用水道事業	12,417,035	12,048,564	368,471	3.1
電気事業	1,426,395	1,430,679	△4,284	△0.3
流域下水道事業	25,078,728	23,829,410	1,249,318	5.2
合計	62,466,294	60,912,448	1,553,846	2.6

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、県立こころの医療センター、県立一志病院及び指定管理者制度を導入している県立志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 766床

(イ) 患者数

	年間	1日平均
入院患者数	165,467人	453人
外来患者数	136,855人	563人

イ. 収益的収支 収入 5,372,452千円 資本的収支 収入 1,538,052千円
支出 5,317,333千円 支出 2,143,900千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が26億6,202万1千円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が27億1,043万1千円で、合わせて53億7,245万2千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が51億8,064万3千円、支払利息等の医業外費用が1億3,669万円で、合わせて53億1,733万3千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、5,511万9千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債7億2,380万円や県費負担金4億1,025万2千円など、合わせて15億3,805

万2千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費7億3,588万円や企業債償還金7億2,002万円など、合わせて21億4,390万円を計上しています。

ウ. 令和4年度の事業運営

新型コロナウイルス感染症による今後の影響が見通せない中、同感染症にかかる専用病床の確保や検査、ワクチン接種に対応しながら、

- ・ こころの医療センターにおいては、政策的医療のほか訪問看護やデイケア等の地域生活支援、認知症治療や依存症治療等の専門的医療の提供
- ・ 一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践やプライマリ・ケア人材の育成、地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携
- ・ 志摩病院においては、指定管理者と密接に連携しながら地域の医療ニーズをふまえた診療機能の充実

などに取り組み、県立病院として役割を果たしていきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）により、水道用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 73,697,712m³

1日平均給水量 203,024m³

イ. 収益的収支	収入	9,709,375千円	資本的収支	収入	517,510千円
	支出	9,466,243千円		支出	6,616,660千円

収益的収入は、給水収益88億2,087万円及びその他営業収益を合わせた営業収益88億2,461万1千円と長期前受金戻入8億2,978万9千円等の営業外収益8億8,476万4千円です。

収益的支出は、人件費、動力費、減価償却費等の営業費用89億9,402万4千円と支払利息等の営業外費用4億7,021万9千円が主なものです。

以上の結果、3,479万2千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、他会計補助金2億6,371万円と長期貸付金償還金1億5千万円が主なものです。

資本的支出は、北勢水道改良費等の建設改良費47億6,857万7千円、企業債償還金等の償還金18億4,808万3千円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北勢水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備及び改良事業	R4	114,391	114,391	既設設備の改良
北勢水道改良事業	R4	1,626,690	1,626,690	既設施設の改良
中勢水道改良事業	R4	1,533,746	1,533,746	既設施設の改良
南勢水道改良事業	R4	1,443,710	1,443,710	既設施設の改良

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力840,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 92社
(イ) 年間総給水量 213,671,300m³
1日平均給水量 585,401m³

イ. 収益的収支 収入 6,330,274千円 資本的収支 収入 2,386,911千円
支出 6,057,200千円 支出 6,359,835千円

収益的収入は、給水収益56億7,451万6千円及びその他営業収益を合わせた営業収益59億3,590万5千円と長期前受金戻入3億5,693万5千円等の営業外収益3億9,436万9千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用58億1,361万円と支払利息等の営業外費用2億4,159千円が主なものです。

以上の結果、764万3千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債17億9,300万円と他会計出資金2億9,029万6千円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良費等の建設改良費53億3,194万円と企業債償還金10億2,789万5千円です。

ウ. 主な建設改良計画

大規模地震や設備の老朽化などに対応するため、北伊勢工業用水道改良事業等において、耐震化や老朽化対策等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備及び改良事業	R4	225,667	225,667	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	R4	4,247,937	4,247,937	既設施設の改良
松阪工業用水道改良事業	R4	492,120	492,120	既設施設の改良
中伊勢工業用水道改良事業	R4	195,920	195,920	既設施設の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、三重ごみ固形燃料発電所において、RDF焼却・発電施設の運転により発電された電気を電気事業者等に供給していましたが、令和元年9月17日をもって発電を終了し、同年12月21日には電気事業法における三重ごみ固形燃料発電所を廃止しました。

今後は、関係部局等と協議・調整のうえ、関係市町等と連携し、RDF焼却・発電事業の円滑な終了に向けて取り組めます。

ア. 業務の予定量

施設撤去等事業 1,140,000千円

イ. 収益的収支	収入	9,092千円	資本的収支	収入	－千円
	支出	1,426,395千円		支出	－千円

収益的収入は、受取利息3万円等による営業外収益909万2千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、固定資産除却費等による営業費用14億2,289万5千円が主なものです。

以上の結果、13億393万2千円の当期純損失を計上しています。

(5) 流域下水道事業会計

流域下水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、東員町、菰野町、朝日町及び川越町を対象とした北勢沿岸流域下水道（北部処理区、南部処理区）、津市、松阪市及び多気町を対象とした中勢沿岸流域下水道（志登茂川処理区、雲出川左岸処理区、松阪処理区）、伊勢市、明和町及び玉城町を対象とした宮川流域下水道（宮川処理区）により、公共用水域の水質汚濁防止や生活環境の改善等を目的に、汚水処理を行っています。

ア. 業務の予定量

年間総処理水量 87,506,000m³

1日平均処理水量 239,742m³

イ. 収益的収支 収入 14,127,131千円 資本的収支 収入 10,514,620千円
 支出 13,919,953千円 支出 11,158,775千円

収益的収入は、維持管理負担金収益65億2,446万2千円及びその他営業収益を合わせた営業収益65億4,976万2千円と、長期前受金戻入69億7,472万3千円等の営業外収益75億7,736万9千円です。

収益的支出は、委託費、減価償却費等の営業費用130億8,466万2千円と、支払利息等の営業外費用8億3,479万1千円が主なものです。

以上の結果、2億1,135万3千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債20億8,010万円、補助金66億9,634万7千円、負担金17億3,067万3千円、雑収入750万円です。

資本的支出は、国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業等の建設改良費80億7,293万1千円、企業債償還金30億8,584万4千円です。

ウ. 主な建設改良計画

南部浄化センターでは、汚水量の増加に対応するため、国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業において、第2期建設事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
国補北勢沿岸流域下水道（北部）建設事業	R4	549,068	549,068	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補北勢沿岸流域下水道（南部）建設事業	R4	4,812,615	4,812,615	処理施設の増設、更新・長寿命化対策、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道（志登茂川）建設事業	R4	90,300	90,300	処理施設の増設等
国補中勢沿岸流域下水道（雲出川左岸）建設事業	R4	431,437	431,437	更新・長寿命化対策、地震対策等
国補中勢沿岸流域下水道（松阪）建設事業	R4	785,825	785,825	処理施設の増設、更新・長寿命化対策、地震対策等
国補宮川流域下水道（宮川）建設事業	R4	1,296,015	1,296,015	幹線管渠の延伸、更新・長寿命化対策、地震対策等

一口メモ

- 収益的収支… 当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支… 住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。